

出前講座 報告書

開催日時	令和元年 11 月 29 日（金） 13 時 30 分 ～15 時 00 分
開催場所	さるびの温泉
申請団体等名称	一般社団法人 大山田温泉福祉公社
テーマ	今後のさるびの温泉の在り方について
委員会名等	総務常任委員会
委員会名等	上田 宗久（委員長）、森川 徹（副委員長）、宮崎 栄樹、生中 正嗣、中谷 一彦、岩田 佐俊、安本 美栄子
記録者	森川 徹
<p>【講座・意見交換等の主な内容、対応等】</p> <p>自己紹介の後、大山田温泉福祉公社から、平成 11 年から現在までの経営状況・運営状況の説明があった。</p> <p>現在の運営状況として、職員は温泉の運営に努力をしているものの、結果的には赤字決算となってしまうている。</p> <p>解決策として、温泉の割引チケットを近隣住民に配布し、忍者トレイルランニングの発着地をさるびの温泉とするなどのコラボレーション企画を実施しているが、入浴者・来場者数は増えておらず、割引チケットの回収率も 20%程度にとどまっているなど様々な問題があると説明を受けた。</p> <p>このような現状の中、今後のさるびの温泉の在り方について、大山田自治協議会に意見を求めてたところ、さるびの温泉の存続に対して反対の意見もあるとのことであった。</p> <p>また、入湯税の一部を、老朽化したボイラーの修繕、空調施設の整備補修、脱衣場のロッカーの改修の費用に充てられないのか。という要望に対し、行政からの早急な回答が欲しいとの意見があげられた。</p> <p>議員からは、大山田農林業公社や大山田財産区と連携してはどうかなどの意見があり、話し合いがなされた。</p> <p>最後に施設内の老朽箇所の調査を行った。</p> <p>今回の出前講座を受け、議会として行政に対し、入湯税の在り方の検討状況の報告について申し入れを行うほか、施設改修の早期実現を可能にする手法を温泉公社と共に考えるよう要望する必要があると感じた。</p>	

伊賀市議会議長 様
令和元年 11 月 29 日

議会出前講座実施要綱第 1 1 条第 1 項の規定により提出します。
総務常任委員長 上田 宗久